

四半期報告書の訂正報告書

(第85期第3四半期)

自 平成20年10月1日

至 平成20年12月31日



伊藤忠商事株式会社

(E02497)

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年5月22日
【四半期会計期間】	第85期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	伊藤忠商事株式会社
【英訳名】	ITOCHU Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 栄 三
【本店の所在の場所】	大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
【電話番号】	大阪（06）6241-2121
【事務連絡者氏名】	総務部 増 永 泰一郎 経理部 齋 藤 勇
【最寄りの連絡場所】	東京都港区北青山2丁目5番1号
【電話番号】	東京（03）3497-2121
【事務連絡者氏名】	総務部 武 村 洋 二 経理部 関 鎮
【縦覧に供する場所】	伊藤忠商事株式会社 東京本社 （東京都港区北青山2丁目5番1号） 伊藤忠商事株式会社 名古屋支社 （名古屋市中区錦1丁目5番11号） 伊藤忠商事株式会社 九州支社 （福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号） 伊藤忠商事株式会社 中国支社 （広島市中区中町7番32号） 伊藤忠商事株式会社 北海道支社 （札幌市中央区北三条西4丁目1番地） 伊藤忠商事株式会社 東北支社 （仙台市青葉区中央1丁目3番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄3丁目8番20号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神2丁目14番2号） 証券会員制法人札幌証券取引所 （札幌市中央区南一条西5丁目14番地の1）

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年2月13日に提出した第85期第3四半期（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）の四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、同四半期報告書の提出日時点の状況においてこれを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態及び経営成績の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第85期 第3四半期連結 累計期間	第85期 第3四半期連結 会計期間	第84期	
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日	自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	
<中略>				
売上高	(百万円)	9,936,068	3,323,813	12,387,908

<後略>

(訂正後)

回次	第85期 第3四半期連結 累計期間	第85期 第3四半期連結 会計期間	第84期	
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日	自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	
<中略>				
売上高	(百万円)	9,606,377	3,175,186	11,729,082

<後略>

第2【事業の状況】

3【財政状態及び経営成績の分析】

(訂正前)

(3) 業績の状況

〔当第3四半期連結累計期間〕（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

<中略>

なお、日本の会計慣行に基づく当第3四半期累計会計期間の売上高は上記「収益」と同様の理由で減少した繊維、化学品市況の急落及び国内住宅市場の低迷により減少した生活資材・化学品等の減収はあるも、上記「収益」と同理由により増加した金属・エネルギー、食品流通関連の取扱増加及び飼料穀物・油脂等の食料原料価格の上昇及び取扱数量増があった食料等の増収により、前第3四半期連結累計期間比8,831億円（9.8%）増収の9兆9,361億円となりました。

〔当第3四半期連結会計期間〕（平成20年10月1日～平成20年12月31日）

<中略>

なお、日本の会計慣行に基づく当第3四半期連結会計期間の「売上高」は、(株)三景の連結子会社化に伴う増加があったものの、子会社数社が連結除外となった影響及び繊維原料、織物、衣料品の市況低迷による減少があった繊維、上記「収益」と同理由により減少した生活資材・化学品等の減収はあるも、上記「収益」と同様の理由で増加した金属・エネルギー、食品流通関連の取扱増及び飼料穀物価格の上昇により増加した食料等の増収により、前第3四半期連結会計期間比1,565億円（4.9%）増収の3兆3,238億円となりました。

<中略>

(4) オペレーティングセグメント別業績

当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間におけるオペレーティングセグメント別の業績は、次のとおりです。当社はディビジョンカンパニー制を導入しており、その区分により記載しております。

〔当第3四半期連結累計期間〕（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

<中略>

④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、金属資源・エネルギー価格上昇及び伊藤忠エネクス(株)子会社化の影響により、前第3四半期連結累計期間比8,933億円（33.3%）増収の3兆5,763億円となりました。

<中略>

〔当第3四半期連結会計期間〕（平成20年10月1日～平成20年12月31日）

<中略>

④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、金属資源価格上昇及び伊藤忠エネクス(株)子会社化の影響により、前第3四半期連結会計期間比2,609億円（26.4%）増収の1兆2,478億円となりました。

<後略>

(訂正後)

(3) 業績の状況

〔当第3四半期連結累計期間〕（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

<中略>

なお、日本の会計慣行に基づく当第3四半期累計会計期間の売上高は上記「収益」と同様の理由で減少した繊維、化学品市況の急落及び国内住宅市場の低迷により減少した生活資材・化学品等の減収はあるも、上記「収益」と同理由により増加した金属・エネルギー、食品流通関連の取扱増加及び飼料穀物・油脂等の食料原料価格の上昇及び取扱数量増があった食料等の増収により、前第3四半期連結累計期間比9,103億円（10.5%）増収の9兆6,064億円となりました。

〔当第3四半期連結会計期間〕（平成20年10月1日～平成20年12月31日）

<中略>

なお、日本の会計慣行に基づく当第3四半期連結会計期間の「売上高」は、(株)三景の連結子会社化に伴う増加があったものの、子会社数社が連結除外となった影響及び繊維原料、織物、衣料品の市況低迷による減少があった繊維、上記「収益」と同理由により減少した生活資材・化学品等の減収はあるも、上記「収益」と同様の理由で増加した金属・エネルギー、食品流通関連の取扱増及び飼料穀物価格の上昇により増加した食料等の増収により、前第3四半期連結会計期間比1,888億円（6.3%）増収の3兆1,752億円となりました。

<中略>

(4) オペレーティングセグメント別業績

当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間におけるオペレーティングセグメント別の業績は、次のとおりです。当社はディビジョンカンパニー制を導入しており、その区分により記載しております。

〔当第3四半期連結累計期間〕（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

<中略>

④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、金属資源・エネルギー価格上昇及び伊藤忠エネクス(株)子会社化の影響により、前第3四半期連結累計期間比9,206億円（39.6%）増収の3兆2,466億円となりました。

<中略>

〔当第3四半期連結会計期間〕（平成20年10月1日～平成20年12月31日）

<中略>

④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、金属資源価格上昇及び伊藤忠エネクス(株)子会社化の影響により、前第3四半期連結会計期間比2,932億円（36.4%）増収の1兆992億円となりました。

<後略>

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(2)【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

		当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)	百分比 (%)
<中略> (売上高 当第3四半期連結累計期間 9,936,068百万円)	<中略> 1,6	<中略>	

<中略>

【第3四半期連結会計期間】

		当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)	百分比 (%)
<中略> (売上高 当第3四半期連結会計期間 3,323,813百万円)	<中略> 1,6	<中略>	

<後略>

(訂正後)

【第3四半期連結累計期間】

		当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
区分	注記 番号	金額 (百万円)	百分比 (%)
<中略> (売上高 当第3四半期連結累計期間 9,606,377百万円)	<中略> 1,6	<中略>	

<中略>

【第3四半期連結会計期間】

		当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
区分	注記 番号	金額 (百万円)	百分比 (%)
<中略> (売上高 当第3四半期連結会計期間 3,175,186百万円)	<中略> 1,6	<中略>	

<後略>

<前略>

(訂正前)

【オペレーティングセグメント情報】

	当第3四半期連結会計期間				
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	154,115	344,517	147,244	<u>1,247,795</u>	497,359
セグメント間内部売上高	138	334	545	126	5,281
合計	<u>154,253</u>	<u>344,851</u>	<u>147,789</u>	<u>1,247,921</u>	<u>502,640</u>
	<中略>				
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		838,695	49,009	45,079	<u>3,323,813</u>
セグメント間内部売上高		121	3	△6,548	—
合計		<u>838,816</u>	<u>49,012</u>	<u>38,531</u>	<u>3,323,813</u>
	<中略>				
	当第3四半期連結累計期間				
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	441,259	1,107,577	433,282	<u>3,576,296</u>	1,636,861
セグメント間内部売上高	454	929	2,766	325	15,450
合計	<u>441,713</u>	<u>1,108,506</u>	<u>436,048</u>	<u>3,576,621</u>	<u>1,652,311</u>
	<中略>				
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		2,478,468	123,067	139,258	<u>9,936,068</u>
セグメント間内部売上高		420	7	△20,351	—
合計		<u>2,478,888</u>	<u>123,074</u>	<u>118,907</u>	<u>9,936,068</u>
	<中略>				

<後略>

(訂正後)

【オペレーティングセグメント情報】

	当第3四半期連結会計期間				
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	154,115	344,517	147,244	1,099,168	497,359
セグメント間内部売上高	138	334	545	126	5,281
合計	154,253	344,851	147,789	1,099,294	502,640
	<中略>				
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		838,695	49,009	45,079	3,175,186
セグメント間内部売上高		121	3	△6,548	—
合計		838,816	49,012	38,531	3,175,186
	<中略>				
	当第3四半期連結累計期間				
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	441,259	1,107,577	433,282	3,246,605	1,636,861
セグメント間内部売上高	454	929	2,766	325	15,450
合計	441,713	1,108,506	436,048	3,246,930	1,652,311
	<中略>				
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		2,478,468	123,067	139,258	9,606,377
セグメント間内部売上高		420	7	△20,351	—
合計		2,478,888	123,074	118,907	9,606,377
	<中略>				

<後略>

【表紙】

【提出書類】

確認書

【根拠条文】

金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】

関東財務局長

【提出日】

平成21年5月22日

【会社名】

伊藤忠商事株式会社

【英訳名】

ITOCHU Corporation

【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 栄 三
【最高財務責任者の役職氏名】	常務執行役員 関 忠 行
【本店の所在の場所】	大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
【縦覧に供する場所】	伊藤忠商事株式会社 東京本社 (東京都港区北青山2丁目5番1号)
	伊藤忠商事株式会社 名古屋支社 (名古屋市中区錦1丁目5番11号)
	伊藤忠商事株式会社 九州支社 (福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号)
	伊藤忠商事株式会社 中国支社 (広島市中区中町7番32号)
	伊藤忠商事株式会社 北海道支社 (札幌市中央区北三条西4丁目1番地)
	伊藤忠商事株式会社 東北支社 (仙台市青葉区中央1丁目3番1号)
	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)
	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)
	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄3丁目8番20号)
	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神2丁目14番2号)
	証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南一条西5丁目14番地の1)

1【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社の代表取締役社長小林栄三及び最高財務責任者（CFO）関忠行は、当社の第85期第3四半期（自平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）の四半期報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2【特記事項】

特記すべき事項はありません。